

花と蛇2 パリ／静子 (2005)

メディア 映画

ジャンル エロティック ロマン

製作国 日本

色彩 Color

時間 113分

初公開日 2005/05/14

公開情報 東映ビデオ

映倫 R-18

【キャッチコピー】

狂気的愛。

男が犯した罪。女が受けた罪。耽美映像<エロス>で描く極限のラブストーリー。

【解説】

S M界の文豪・団鬼六の同名原作を、杉本彩による体当たりの演技で映画化し話題を振りまいた官能ロマンの第2弾。歳の離れた老境の夫を持つ妻が、若い画家との愛欲に溺れていく姿をエロティシズムを前面に打ち出し描く。共演は遠藤憲一とベテラン、穴戸錠。監督は前作に引き続き「ヌードの夜」「天使のはらわた」シリーズの石井隆。

著名な美術評論家、遠山隆義の最愛の妻、静子。互いに確かな愛情で結ばれた2人だったが、年老いた遠山に35歳年下の静子を充たす夜の生活を送ることは叶わなかった。そんなある日、遠山は死んだ画壇の長老が秘かにCGで描いていた春画を目にする。それはすべて、妄想で描いた静子がモデルの緊縛絵だった。その絵に触発された遠山は、静子の内面に潜む熱い性愛の情をこの目で確かめたいとの倒錯した欲望に囚われる。一計を案じた遠山は、才能がありながらパリで不遇をかこつ若き画家、池上亮輔のもとに静子に向かわせるのだった…。

【クレジット】

監督	石井隆
企画	石井隆
	松田仁
プロデューサー	新津岳人
原作	団鬼六
脚本	石井隆
撮影	柳田裕男
	小松高志
美術	山崎輝
音楽	安川午朗
照明	市川徳充
録音	北村峰晴
助監督	阿知波孝
出演	杉本彩 遠山静子
	遠藤憲一 池上亮輔
	不二子 池上小夜子
	荒井美恵子 オークションの女・貴子

伊藤洋三郎 オークションの司祭
山口祥行
品川徹
中山俊
穴戸錠 遠山隆義